

TAKASHIMA CITY

Living Shift

Concept & Action Plan

高島リビング・シフト構想／アクションプラン【全編】

コロナ禍を契機に加速した「働き方」「暮らし方」「学び方」の変化を捉えて
高島市では新たな人の流れを生み出します。

この構想では、高島市とつながる人（関係人口）の更なる開拓と、
その取り組みの深化を通して、本市のまちづくりを支える人々の広がりを目指します。

2022年2月

目次

構想編

1. “リビング・シフト”とは（定義）	- 1 -
2. 『高島リビング・シフト構想』のビジョン（目指す姿）	- 1 -
3. 社会動向（外部要因）と高島の資源（内部要因）を捉えた環境分析	- 1 -
4. 環境分析から導き出した“高島らしさ”の創造（6つの独自性）	- 2 -
5. 構想の柱となる「3つの戦略」	- 4 -
6. 高島リビング・シフト構想の推進期間	- 6 -
7. 高島リビング・シフト構想の目指す『評価指標（KPI）』	- 6 -

アクションプラン編

1. アクションプランの全体像	- 7 -
2. 各プロジェクトについて	- 7 -
Project 1 たかしま版「子育てリビング・シフト」プロジェクト	- 8 -
Project 2 高島を感じる住まいと体験プロジェクト	- 8 -
Project 3 たかしまで“ととのう”健康になるプロジェクト	- 9 -
Project 4 農のある暮らし体験プロジェクト	- 9 -
Project 5 高島の食の恵み発信プロジェクト	- 10 -
Project 6 若者（第2ステージ）地域ワーク体験プロジェクト	- 10 -
Project 7 生涯現役（第4ステージ）支援プロジェクト	- 11 -
Project 8 ディスカバー高島 自分の可能性が広がるプロジェクト	- 11 -
Project 9 企業ネットワークデザインプロジェクト	- 12 -
Project 10 子育て世帯向けコワーキングスペース整備プロジェクト	- 12 -
Project 11 リビング・シフトエリア検討	- 13 -
Project 12 市内をつなぐ交通サービスプロジェクト	- 13 -
Management リビング・シフト構想 運営マネジメント	- 14 -
3. アクションプランの全体スケジュール（令和4年度から令和6年度まで）	- 15 -

アクションプランで高島とつながる『物語』

物語1 高島であればできることがある	- 16 -
物語2 高島では「リビング・シフト」が始まっている	- 17 -
物語3 あなたの「リビング・シフト」も必ず見つかる	- 18 -

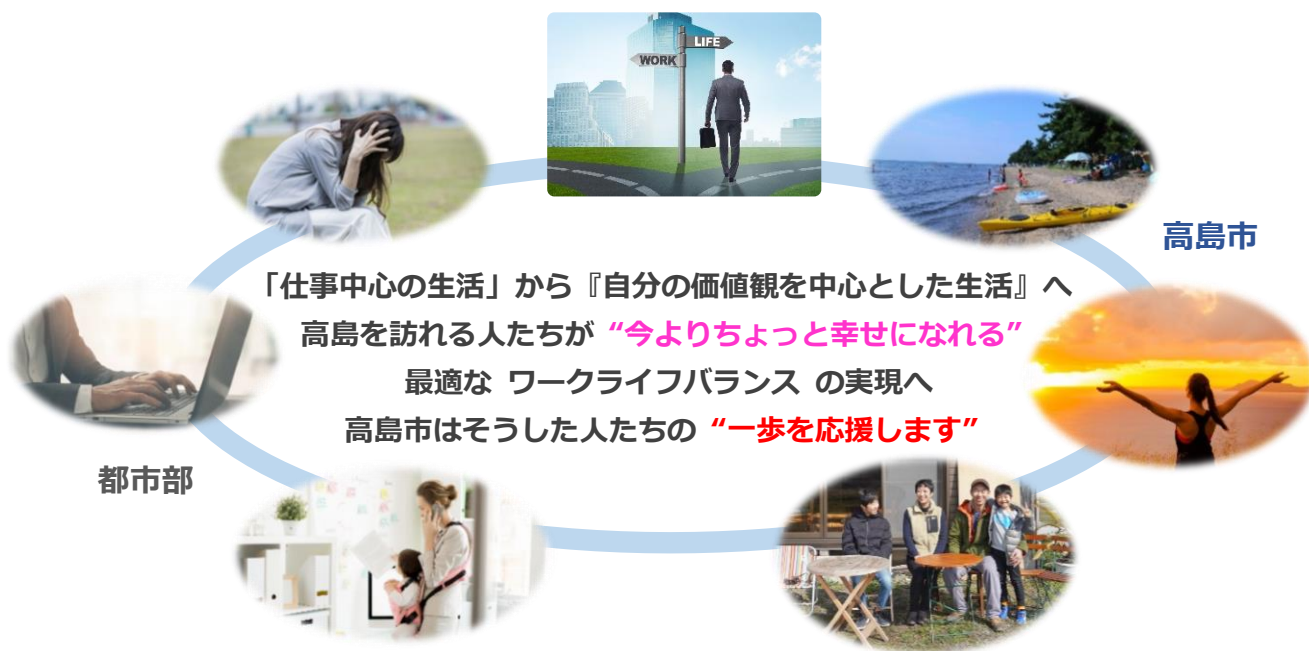
高島リビング・シフト構想

1. “リビング・シフト”とは（定義）

コロナ禍における「都市一極集中」から『地方・分散型社会』への転換、「仕事を中心とした生き方」から『自分の価値観を中心においた新しい「働き方」「暮らし方」「学び方』への変化のことです。

2. 『高島リビング・シフト構想』のビジョン（目指す姿）

高島リビング・シフト構想は、上記で示す変化（リビング・シフト）を捉え、本市の地域資源や新たな価値を発信することで、関係人口の開拓、ひいては多様な世代の誘客・地域活性化に繋がります。



3. 社会動向（外部要因）と高島の資源（内部要因）を捉えた環境分析

高島リビング・シフトは、自分の価値観を中心においた新しい「働き方」「暮らし方」「学び方」への変化を捉え、そのうえで、高島の地域資源の中に新たな価値を見出すという2つのプロセスを経て動き始めます。

プロセス1 時代の変化と活かすべき「機会」の整理

コロナ禍を契機として顕在化した時代動向や、心身の健康意識の向上、ライフスタイル見直し等の変化を踏まえて、活かすべき機会を整理しました。

活かすべき機会
(O : Opportunity)

- 巣ごもり・三密回避、自然回帰、ライフスタイルの見直し
- 企業の拠点分散や働き方改革、健康リスク管理意識
- 社会・経済活動の本質的見直し、人を基軸とした考え方
- テレワーク浸透、都市の利便性とリスクの二律背反に対する認識
- 自身や家族の身体的・精神的健康に対する意識の向上
- 食の安全への意識、地産地消への関心の高まり

プロセス2 高島の地域資源を活かす「強み」の抽出

高島の地域資源を活かすため、コロナ禍を契機とした時代の変化を踏まえて、競合地域のなかで高島が独自に有する「強み」を抽出しました。

高島の「強み」
(S : Strength)

- 都市からのアクセスの良さ、琵琶湖から分水嶺までの自然景観
- 新たなサービス資源として可能性が広がる「森林」(朽木)
- 中江藤樹、近江商人高島屋ゆかりの地、針江など環境に配慮する暮らし
- 最高水準の子育て支援制度・自然を生かした教育環境
- 「栄養・運動・休養」健康3要素と「美」(景観、芸術)の集積
- オーガニック、有機農業に取り組む農家の存在、食育に優れた環境

4. 環境分析から導き出した“高島らしさ”の創造(6つの独自性)

『活かすべき機会』×『高島の強み』 = “高島らしさ”を創造

上記環境分析により整理・抽出した「活かすべき機会」と「高島の強み」をうまく組み合わせることで、高島リビング・シフトを起動させるための“高島らしさ”(独自性)を導きました。



高島らしさ（独自性）1 三密回避の時間や空間の中で新たなライフスタイル



三密回避

新たに生まれた時間



マキノ高原

自然景観

森と湖の距離が近く
観光地以外でも
素敵な場所がたくさん

高島らしさ（独自性）2 健康の観点による森林の可能性の洗い出し



健康意識の向上

働き方改革・健康経営



クアオルト

森林資源

ドイツの健康プログラム
クアオルトを取り入れ
自然に囲まれた企業研修が
可能である

高島らしさ（独自性）3 高島の先人の教えや暮らしの知恵を再確認する経営の重視



新しい学び

人を基軸とした経営



かばたの暮らし

先人の教えや知恵の継承

高島には近江商人の教えや
琵琶湖の水源域としての
「下流を思う」知恵が
息づいている

高島らしさ（独自性）4 都会脱出と教育充実の両立の模索



コロナ禍での子育て

テレワーク・都市からの脱出



自然を活かした教育

子育て・教育環境

自然のなかで子育てしたい
と移住する人も絶えず
素敵なアイデアが
仕事でも湧いてくる

高島らしさ（独自性）5 高島で健康になる高島で美しくなるライフスタイル



健康意識の高まり

身体的・精神的健康



発酵食品

栄養・運動・休養3要素+美

栄養・運動・休養は一体で
とらえたい
そこに美が加わると
心も豊かになる

高島らしさ（独自性）6 高島の食・農の可能性の追求



食への関心

有機農業・食へのこだわり



高島農産ブランド

食育に優れた環境

こだわり農業を受け入れる
土地柄であり
高い基準の農産ブランドも
手にはいる

5. 構想の柱となる「3つの戦略」

高島リビング・シフト構想の策定にあたっては、高島の個性を活かし素晴らしさを伝えるために次の「3つの戦略」を柱としました。

【戦略1】 高島とのつながりを期待する人達「マルチステージ」

人生100年時代と言われて久しいですが（下枠内参照）、それは単に寿命が長くなるということではなく、社会で活躍する時間が長くなることを意味します。

- ある海外の研究では、2007年に日本で生まれた子供の半数が107歳より長く生きると推計されており、日本は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えています。
- 100年という長い期間をより充実したものにするためには、幼児教育から小・中・高等学校教育、大学教育、更には社会人の学び直しに至るまで、生涯にわたる学習が重要です。
- 人生100年時代に、高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくることが重要な課題となっています。
厚生労働省の「人生100年時代構想会議中間報告」（平成29年12月）より

つまり、学校で教育を受け、卒業後は社会で働き、やがてリタイアを迎えるという従来の3ステージ型の人生に捉われず、若者は学校を卒業してもしばらく自分の特性や可能性を探る時間を持ったり（ステージ2）、働き出しても次の可能性を模索するため学び直したり、副業したり、合間で自分を見つめ直す時間を持ったりしながら（ステージ3）、人生の後半で暮らす場所を移したり、起業をしたり（ステージ4）という様に、人生を複数のステージ（マルチステージ）で考えることが重要になるのです。（下図参照）

図：ライフステージの変化（リンダグラットン「ライフシフト」等を参考に作成）



☆上図のポイント☆

- [ステージ2] … 自分の特性や可能性を探る「体験」「お試し」機会が重要になる
- [ステージ3] … 新卒にこだわらない雇用契約形態が広がる(ジョブ型など)
- [ステージ4] … 本格的に次のステージに入る前の「学び」の場が重要になる

【戦略2】 構想が目指す姿『フラット型』関係人口の開拓

“関係人口”とは、その地域にいずれかの形で関わる人たちの総称で、観光が中心となる「交流人口」と移住を示す「移住人口」とあわせて提示されることが多く、ある種の誤解を生じる懸念があります。

下図のうち、左図が関係人口を「観光以上定住未満」と位置づけた、言わば「ステップ型」の関係人口を表したものであり、ここでは関係人口は移住を期待された過渡的な状態（踊り場扱い）と認識されます。

一方、右図の関係人口は、交流人口、移住人口と横並び（価値が等しい）の「フラット型」であり、このフラット型における関係人口は、いわば“楽しみながら、長く高島に関わり続ける人達”のことを意味します。

高島リビング・シフト構想では、このフラット型関係人口を重視し、その可能性を広げる手立てを考えていきます。

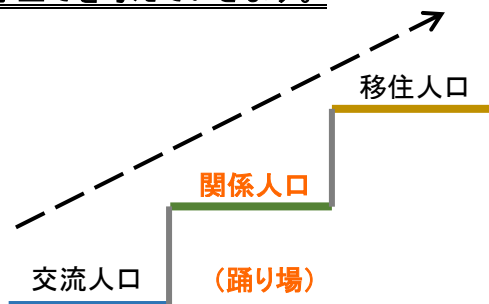


図:ステップ型関係人口

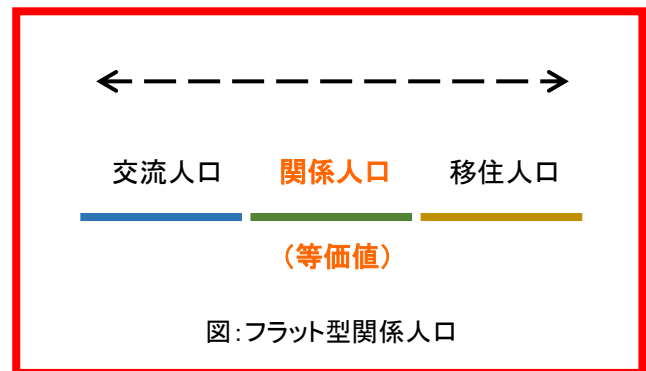


図:フラット型関係人口

【戦略3】 構想を通じて目指すポジション「ファーストワン」

マーケティング分野で使用される「ナンバーワン」「オンリーワン」は、市場のなかで自社がとるべきポジションの検討に大いに役に立ちます。加えて世界初、日本初、業界初といった最初から競合が存在することを想定した「ファーストワン」というポジションもあります。

当然ながら、「ファーストワン」の場合は前例がないため様々な面でリスクは高いですが、一方で、先端的な関心層の取りこみには有効であることから、中小企業やベンチャーの戦略としてもよく使われます。

例えば、リモート拠点を迅速に開発し一気に注目を集めた和歌山県白浜市などは分かりやすい事例であり、本構想でも、幾つかの“ファーストワン”を用いて時代の動きに敏感な人達とのつながりを生み出す取り組みを行います。



6. 高島リビング・シフト構想の推進期間

高島リビング・シフト構想の推進期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間です。本市のまちづくり指針の最上位計画である「高島市総合計画・後期基本計画（計画期間R4-R8）」では、本構想に基づく交流・関係人口の拡大についての施策を明記しています。

7. 高島リビング・シフト構想の目指す『評価指標（KPI）』

高島リビング・シフト構想の推進期間は5年間（R4-R8）ですが、前述のようにコロナ禍における新しい働き方・暮らし方・学び方の変化を捉え、時代に応じて早期に関係人口の開拓や地域の活性化に繋げる必要が求められることから、特に令和4年度から令和6年度までの3年間で“重点期間”と定め、次章で掲げる“アクションプラン”を実施します。

そのため、令和6年度に達成を目指す数値目標を次のとおり設定します。

なお、令和7年度以降のプロジェクト変更や評価指標は、中間年である令和6年度に定めます。

▼KPI：Key Performance Indicator の略。
目標を達成する上で、その達成度合いを計測・監視するための定量的な指標のこと。

数値目標1 関係人口を令和6年度に「450人」とします

高島市に住んでいなくても、本市を応援いただく人のおかげで人口が1%増えているという状態を目指します。

高島市の「関係人口」の増加目標



- ※ 高島市の関係人口は「高島縁人（登録制関係人口）」の登録者数を基としている
- ※ 令和6年度目標数値の450人は市の人口の1%相当数を根拠としている
- ※ 関係人口開拓では、企業などとの連携も積極的に進め、官民連携により達成を目指す

数値目標2 関係人口の“幸福感”を高めます（数値設定は令和4年度以降）

高島に関わることで、関係人口の幸福感が高まっていく。そのことが高島市のまちのブランドにも繋がります。令和4年度に関係人口の方に「幸福感」をアンケート等でお聞きする予定です。高島に関わる（参加する）「前と後」でどんな良い変化（シフト）が生まれたのかを伺い、そのことを通じて、高島のまちのブランドを発信していきます。



アクションプラン

1. アクションプランの全体像

高島リビング・シフト構想の考え方を踏まえて、下記のとおりアクションプランの全体像を示しました。

プランはその内容に基づき「ライフ」「ワーク」「エリア」そして「運営マネジメント」の4つに整理し、加えて、アクションプランは進め方に応じて、先行的に事業実施する「ファーストワン型」と人生100年時代におけるライフステージの変化を捉え「第2、第4ステージ型」と明記しています。

ライフ

- ★ PJ1. たかしま版「子育てリビング・シフト」プロジェクト
- ★ PJ2. 高島を感じる住まいと体験プロジェクト
- ★ PJ3. たかしまで“ととのう”健康になるプロジェクト
- PJ4. 農のある暮らし体験プロジェクト
- PJ5. 高島の食の恵み発信プロジェクト

ワーク

- PJ6. 若者（第2ステージ）地域ワーク体験プロジェクト
- PJ7. 生涯現役（第4ステージ）支援プロジェクト
- PJ8. ディスカバー高島 自分の可能性が広がるプロジェクト
- ★ PJ9. 企業ネットワークデザインプロジェクト

エリア

- PJ10. 子育て世帯向けコワーキングスペース整備プロジェクト
- PJ11. リビング・シフトエリア検討
- PJ12. 市内をつなぐ交通サービスプロジェクト

全体マネジメント

- T0 PJ. リビング・シフト構想 運営マネジメント

表示記号：★・・・ファーストワン型
：○・・・第2、4ステージ型

2. 各プロジェクトについて

高島リビング・シフト構想のアクションプランとして、次の12事業を重点事業（令和4年度から令和6年度まで）として取り組みます。

★Project 1 たかしま版「子育てリビング・シフト」プロジェクト

概要：家族で高島に滞在する人を呼び込むために、子育て環境の整備や、プロモーションを行います



事業内容：

1. たかしま版『スクールシフト』制度導入に向けた検討

高島に短中期的に滞在したい家族が、「区域外就学制度」を活用して、住民票を異動させることなく子どもを高島市内の小中学校で学ばせることができる仕組みの検討を行います。

▼スクールシフト：2016年度から徳島県が「デュアルスクール制度」として先進的に着手。他県でも事例あり。

2. 「たかしま子育てリビング・シフト」プロモーション

子育て支援制度の充実はもちろん、食、住まい、家族の余暇など、高島で子育てをする魅力を「子育てライフスタイル」として、市外の方に魅せるプロモーションツールを作成します。



★・・・ファーストワン型

★Project 2 高島を感じる住まいと体験プロジェクト

概要：高島暮らしを体感するため、おためし暮らしができる住宅の確保や高島の魅力を体感できるプログラムを提供します



事業内容：

1. JR西日本との連携による「おためし暮らし」の推進

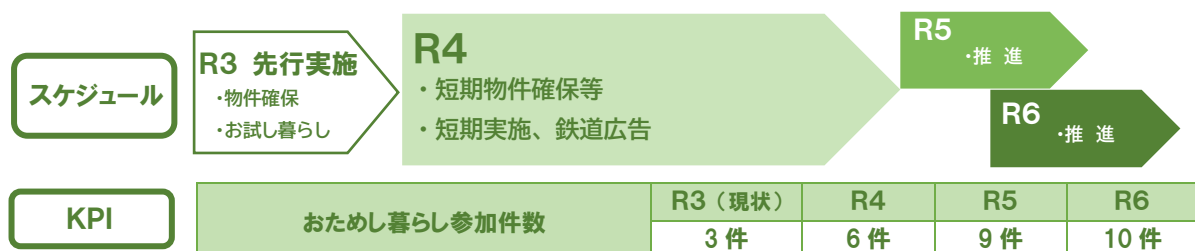
高島での暮らしや、多拠点生活を検討されている方に対して、高島の恵まれた自然環境や都市との近接性を身近に体感していただくため「お試し住宅」を提供し、移住促進に繋がります。

▼おためし暮らし：JR 西日本が沿線自治体と共同で行うプロジェクト。普段は郊外に住みテレワークが可能で、関西都市圏の会社には時々出社するというワークスタイルの人向けに、沿線自治体がおためし暮らし物件を紹介。

物件は、短期おためし型（1～3ヵ月）と長期おためし型（10ヵ月程度）を準備。

2. 高島の魅力を感じる短期滞在プログラムの提供

高島で暮らす魅力を知りたいというニーズに応えるため、短期滞在物件の充実を図るとともに、先輩移住者との交流、市の施策説明会、学校やこども園など施設の見学等を盛り込んだ、2泊3日程度の体験型滞在プログラムを提供します。



★・・・ファーストワン型

★ Project 3 たかしまで“ととのう”健康になるプロジェクト

概要：高島の森の恵みを他の観光資源や食文化等と総合的に
にプロデュースし、関係人口を拡大します



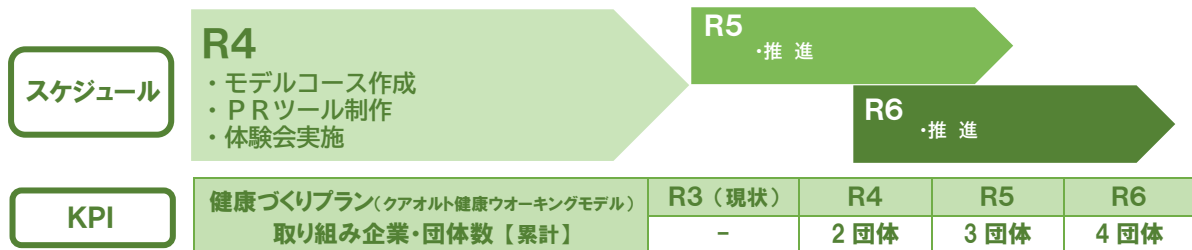
事業内容：

高島で“ととのう”プログラムの企画と営業

高島の森の恵みを活かして、「運動×栄養×休養」といった健康の3要素を体験できる健康づくりモデル（クアオルト健康ウォーキングモデル）を作成するとともに、これを市外企業にプロモーションし、従業員の福利厚生事業などで定期的に来訪いただけるよう営業活動を行います。

▼クアオルト：クアオルト（Kurort）とは、クア（Kur:療法）+オルト（Ort:地域）を合わせた言葉で、ドイツ語で「療養地・健康保養地」を意味します。なお、県内でクアオルトコースが認定されたのは高島市が初めてです。

▼プログラム例：クアオルト健康ウォーキングを体験し（運動）×発酵食弁当を食べ（栄養）×温泉で宿泊（休養）



★・・・ファーストワン型

Project 4 農のある暮らし体験プロジェクト

概要：農に関わる暮らしにあこがれる人に、趣味から仕事
まで、段階に応じて体験する機会を提供します



事業内容：

1. 農への関心を高めるための普及プログラムの開催

農機具活用や収穫体験など、農への関心を高めるためのイベントを実施します。

2. 農の暮らしを知る機会の提供

様々な農作業体験や1次産業者との交流の場を創出することで、さらに農業への関心を高める機会をつくれます。

3. 実践的な農に踏み出す支援の実施

市内空き農地などの情報整理と推奨品種の栽培講習などを通じて、より実践的な農業へと踏み込めるよう支援を行います。



※KPIは今後検討

Project 5 高島の食の恵み発信プロジェクト

概要：食に関心が高い子育て世代をターゲット層とし高島の豊かな食の恵みを発信します

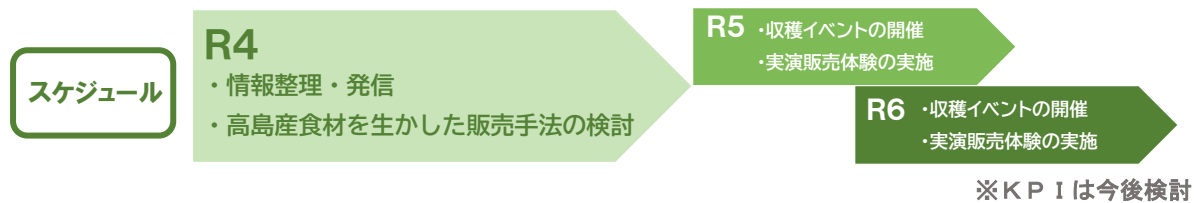
事業内容：

1. 高島の食に関する情報の整理と発信

「高島市農産ブランド認証農作物」をはじめ、市内でつくられた安全・安心食材の販売所やそれらを使った飲食店の情報を整理し、市外の方が生産者、販売店、飲食店等にアクセスしやすいプロモーションを実施します。

2. 高島の食と関係人口をつなげるイベントの実施

収穫祭やマルシェ等、気軽に参加できる食のイベントを通じ、農業者、直売所、飲食店と関係人口をつなぐ機会を創出します。



Project 6 若者(第2ステージ)地域ワーク体験プロジェクト

概要：自分の可能性を地域で探したい、地域貢献がしたいといった若者の働き方の変化（ワークシフト）を受け入れ、若年層の関係人口を開拓します

事業内容：

1. 若者の地域暮らし体験、仕事体験の受け入れ

高島の地域資源を活かした暮らしや仕事の体験を通じて、自らの可能性を開拓したり、豊かな自然や里山で自らを見つめ直したい学生や若者を受け入れます。

また、大学のフィールドワーク誘致のほか、高島でこそ創造性が発揮できる「新しい学び」に関心のある若者を受け入れます。

▼若者の地域志向：内閣府の調査では、地方移住に関心のある人の割合は20代で49.1%と高い比率になっており、その理由は、「人口密度が低く、自然豊かな地域に魅力を感じたため」「テレワークによって、地方でも同様に働けると感じたため」「ライフスタイルを都市部での仕事重視から、地方での生活重視に変えたいため」となっています。「地方創生有識者懇談会」とりまとめ資料より（2021.11月）

2. オンライン関係人口の開拓

高島の情報や地域課題、魅力的な人やスポットの情報を発信するとともに、高島に関心を持つ人と交流を行うオンラインイベント等を行うことで、オンラインを通じた若年層の関係人口を開拓に取り組みます。



○・・・第2ステージ

○ Project 7 生涯現役(第4ステージ)支援プロジェクト

概要：都市部での仕事に定年を迎えた世代が、活躍の場を高島にシフトする受け皿を開拓します



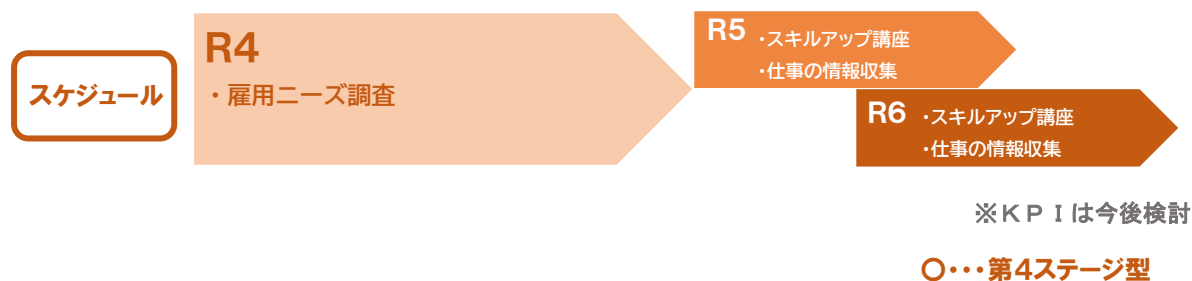
事業内容：

1. シニアのためのスキルアップ（リ・スキリング）支援

シニア世代が退職等を機に、講座や実践研修を通じて新たなスキルを獲得するための支援を行います。

2. シニアのための仕事情報の収集

短時間、短期間、季節限定、プロジェクトごとなど、常勤雇用ではない市内の仕事のニーズを調査開拓し、高島を移住先や暮らしの第2の拠点に置き、生涯現役として活躍したいシニアを支援します。



Project 8 ディスカバー高島 自分の可能性が広がるプロジェクト

概要：自らが持つスキルで新たなチャレンジをしたい人材を支援し、地域に貢献したい関係人口を呼び込む仕組みをつくります



事業内容：

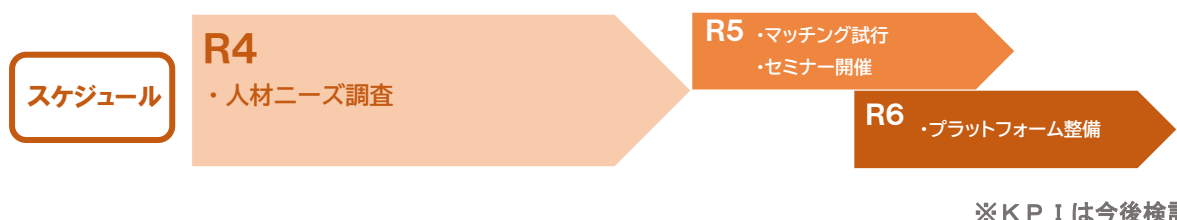
スキルを持つ関係人口と市内の仕事をマッチングするプラットフォームの整備

市内事業所が求めるスキル等のニーズ調査を行い、市外の関係人口が持つスキルとマッチングさせるプラットフォームを整備します。

あわせて市内事業所にはコロナ禍以降高まっている副業・兼業の動きや多様な働き方、また新たな可能性を信じてチャレンジする人材を受け入れる機運を醸成するとともに、関係人口にはスキルアップの機会を設けるなどして、効果的なマッチングを実現します。

▼ジョブ型雇用の高まり：ウィズコロナ、アフターコロナ時代の新たな働き方として、特定の職務（ジョブ）はその仕事を最も高いレベルで遂行できる人材に任せるという「ジョブ型雇用」の考え方が注目されています。

働き手は、自らのスキルを最大限活かせるジョブに複数関わることで、ワークライフバランスや自らのやり甲斐を追求した働き方が可能となります。



★ Project 9 企業ネットワークデザインプロジェクト

概要：高島の地域資源を活用し、企業の関係人口を増やします



事業内容：

1. 都市部の企業を受け入れるプログラムの実施

高島市の地域資源を活用した市外企業の受入プログラムを実施します。

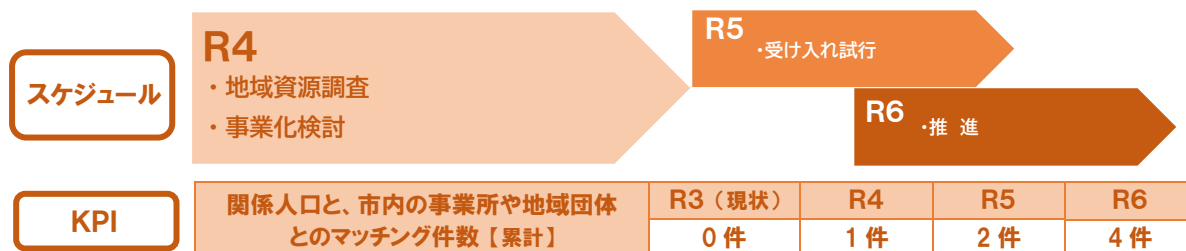
【プログラム例】

- ・ 人口減少地域の課題を探求することで新規事業開発につなげるフィールドワーク
- ・ 中江藤樹や近江商人「高島屋」の教えを元に、人を基軸とした経営理念を学ぶ研修
- ・ 針江のかばたなど、下流を思う暮らしが息づく地域から「SDGs」を学ぶ研修

▼SDGs：持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略。持続可能で、誰一人取り残すことのない多様性と包摂ある社会を実現するため、2030年までに世界が達成すべき目標を定めたもの。

2. 都市部の企業と市内企業の交流

本市を訪れる都市部の企業やその社員と、市内の企業や団体との交流機会、協働の機会創出を図ります。



★・・・ファーストワン型

Project 10 子育て世帯向け coworkingスペース整備プロジェクト

概要：子育て支援が充実したまちとして、子育て世帯の多様な働き方を支援する拠点を整備します



事業内容：

子育て世帯向け coworkingスペースの整備

仕事をしながら育児や子育てに頑張るお父さん、お母さんを応援するため、子連れでも通うことができ、子どもも居心地よく過ごせる coworkingスペースを遊休施設活用も視野に整備します。

▼ coworkingスペース： coworkingとは個人事業者や起業家、在宅勤務が許可されている会社員など、場所の縛りが無い環境で働いている人たちによるワークスタイルです。この coworkingを支えるのが、 coworkingスペースと呼ばれる施設で、設備を共有することで、経費の削減や利便性を得るとともに、スペースでの交流により、情報交換や協働などの相乗効果が生まれます。



※KPIは今後検討

Project 11 リビング・シフトエリア検討

概要：JR駅や道の駅、観光交流拠点施設等を中心に、関係人口の対流を促す取り組みや、地域と連携してエリアの魅力化向上を図る取組を検討します



事業内容：

1. JR駅等を活用した交流、対流の場づくり

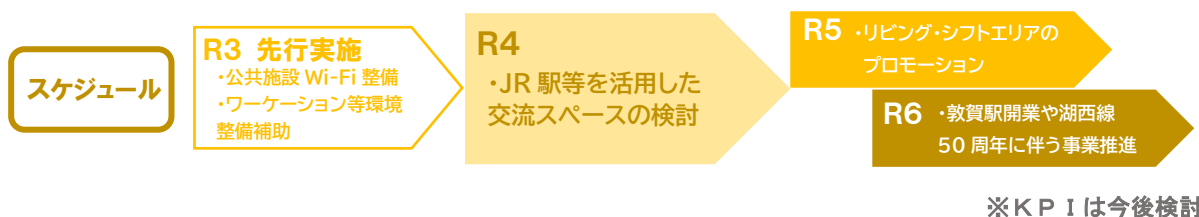
北陸新幹線敦賀駅開業や湖西線 50 周年も視野に、JR 駅等人々の対流拠点を中心としたイベントや、交流スペース整備による関係人口の誘客を図ります。

2. ネットワーク環境の整備

公共施設や店舗等に Wi-Fi 等のネットワーク環境が整備されることにより、市内に滞在する方が不自由なくリモートワークやデジタルコミュニケーション等を図れるよう取り組みます。

3. リビング・シフトエリアのプロモーション

関係人口の居場所となる宿泊施設やコワーキングスペース、その他観光誘客施設やカフェ等をエリアとして見える化し、まちのプロモーションにつなげます。



Project 12 市内をつなぐ交通サービスプロジェクト

概要：市内 2 次交通ネットワークの確立に向け、利便性向上を図ります



事業内容：

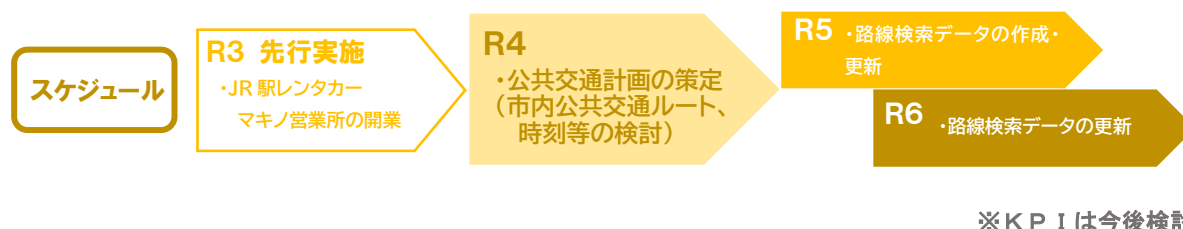
1. 市内 2 次交通情報のオープンデータ化

公共交通の利便性向上のため、2 次交通情報のオープンデータ化を進め、Google 検索で目的地までの乗継・時刻・移動ルートを円滑に検索できるように取り組みます。

▼オープンデータ：公共交通機関で進む世界共通の公開データ仕様のこと。

2. 民間活用も含めた新たなモビリティの導入推進

企業や大学等との連携を積極的に進め、民間活力を取り入れたモビリティ向上や新たな移動手段の導入を推進します。



Management リビング・シフト構想 運営マネジメント

概要：高島リビング・シフト構想のマネジメントやプロジェクト全体を総括した情報発信を行います



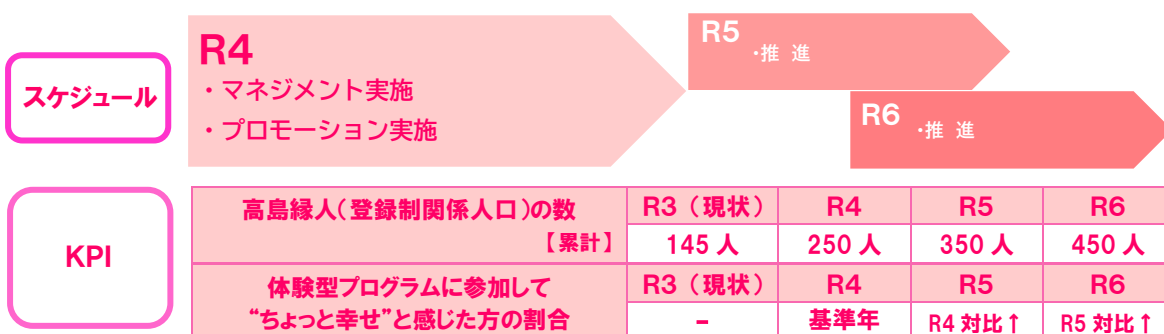
事業内容：

1. 高島リビング・シフト構想運営マネジメント

各プロジェクトの進捗管理や効果検証を行い、リビング・シフト構想を効果的に推進するとともに、必要に応じた事業の変更や新規取り組みを立案していきます。

2. プロモーション活動

高島リビング・シフト構想の基盤となる本市の強み（都市からのアクセス性、豊かな自然の恵み（景観・食文化）、優れた子育て環境など）や、各プロジェクトの内容を広く情報発信するための動画や冊子などを作成し、プロモーション活動を行います。



3. アクションプランの全体スケジュール（令和4年度から令和6年度まで）

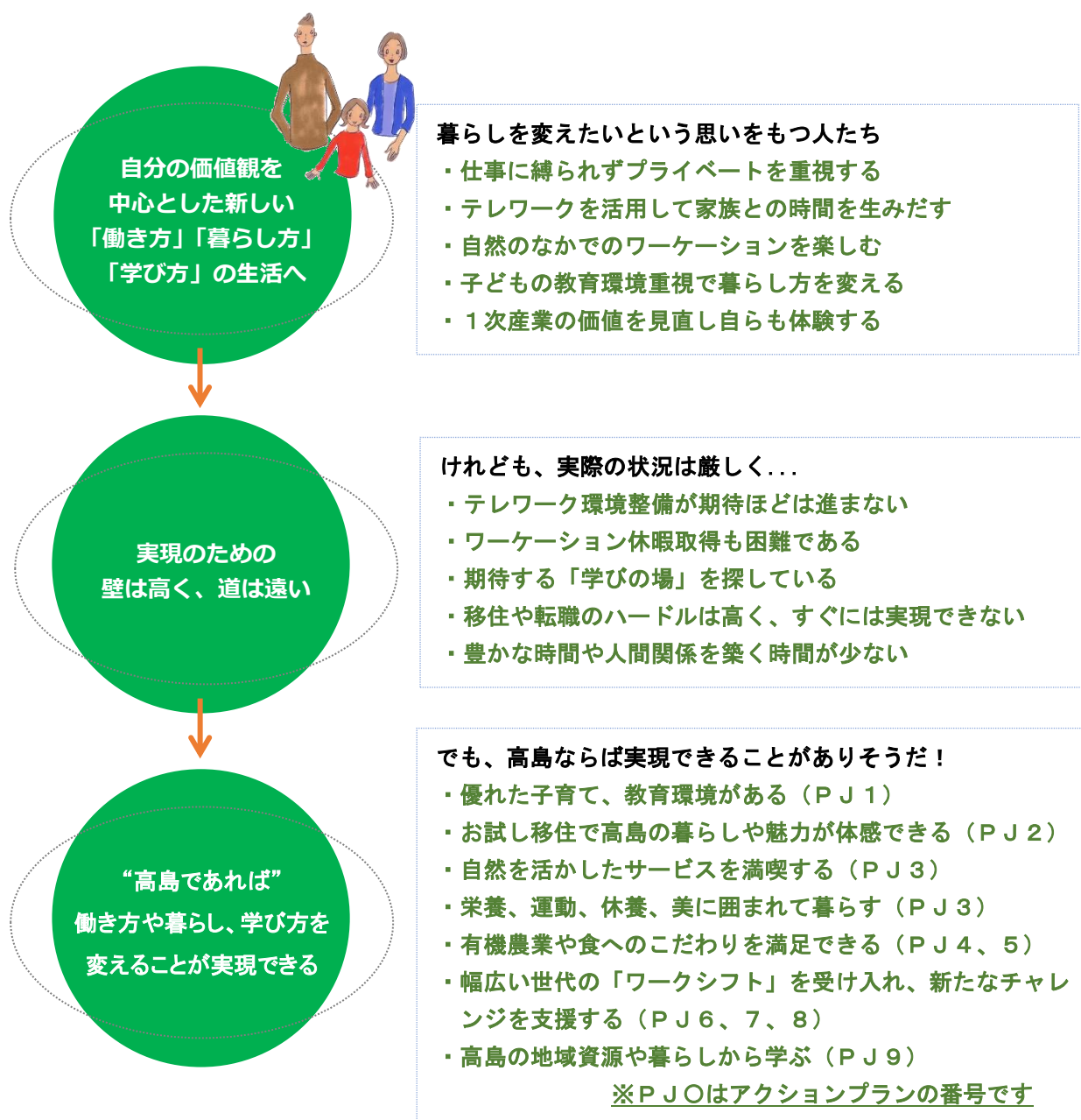
プロジェクト	令和4年度	令和5年度	令和6年度	担当部署
PJ1.たかしま版 「子育てリビング・シフト」 プロジェクト	制度検討 PR ツール制作	プロモーション 受入試行	プロモツール更新 仕組み構築	学校教育課 総合戦略課
PJ2.高島を感じる住まいと 体験プロジェクト	短期物件確保等 短期実施、鉄道広告	推 進 ※効果検証踏まえ	推 進 ※効果検証踏まえ	市民協働課 観光振興課
PJ3.たかしまで“ととのう” 健康になるプロジェクト	モデルコース作成 PR ツール作成 体験会実施	推 進 ※効果検証踏まえ	推 進 ※効果検証踏まえ	森林水産課 健康推進課
PJ4.農のある暮らし体験 プロジェクト	普及プログラム実施 暮らしを知る機会 手法の研究	暮らしを知る機会の 提供 農地情報の整理等	暮らしを知る機会の 提供 実践支援	農業政策課
PJ5.高島の食の恵み発信 プロジェクト	情報整理・発信 高島産食材を生かし た販売手法の検討	収穫イベントの開催 実演体験実施の実施	収穫イベントの開催 実演体験実施の実施	農業政策課
PJ6.若者（第2ステージ）地域 ワーク体験プロジェクト	受入仕組の検討 モデル事業実施 オンラインイベント	オンライン交流 体験フィールド拡充 受入実施	推 進 ※効果検証踏まえ	総合戦略課
PJ7.生涯現役（第4ステージ） 支援プロジェクト	雇用ニーズ調査	スキルアップ講座 仕事の情報収集	スキルアップ講座 仕事の情報収集	企画広報課
PJ8.ディスカバー高島 自分の可能性が広がる プロジェクト	人材ニーズ調査	マッチング試行 セミナー開催	プラットフォーム 整備	商工振興課
PJ9.企業ネットワーク デザインプロジェクト	地域資源調査 事業化検討	受入試行	推 進 ※効果検証踏まえ	総合戦略課
PJ10.子育て世帯向け コワーキングスペース 整備プロジェクト	事業化検討	推 進 ※効果検証踏まえ	推 進 ※効果検証踏まえ	子育て支援課
PJ11.リビング・シフト エリア検討	JR 駅等を活用した 交流スペース検討	リビングシフトエリ アのプロモーション	敦賀駅開業や湖西線 50周年に伴う事業 推進	都市政策課
PJ12.市内をつなぐ交通 サービスプロジェクト	公共交通計画の策定	路線検索データの 作成・更新	路線検索データの 更新	都市政策課
Management. リビング・シフト構想運営 マネジメント	マネジメント実施 プロモーション実施	推 進 ※効果検証踏まえ	推 進 ※効果検証踏まえ	企画広報課

アクションプランで高島とつながる『物語』

アクションプランの着手と充実で、リビング・シフトをしたい（暮らしを変えたい）人々と高島との間で、どのようにして“つながり”が生まれるか「3つの物語」でお伝えします。

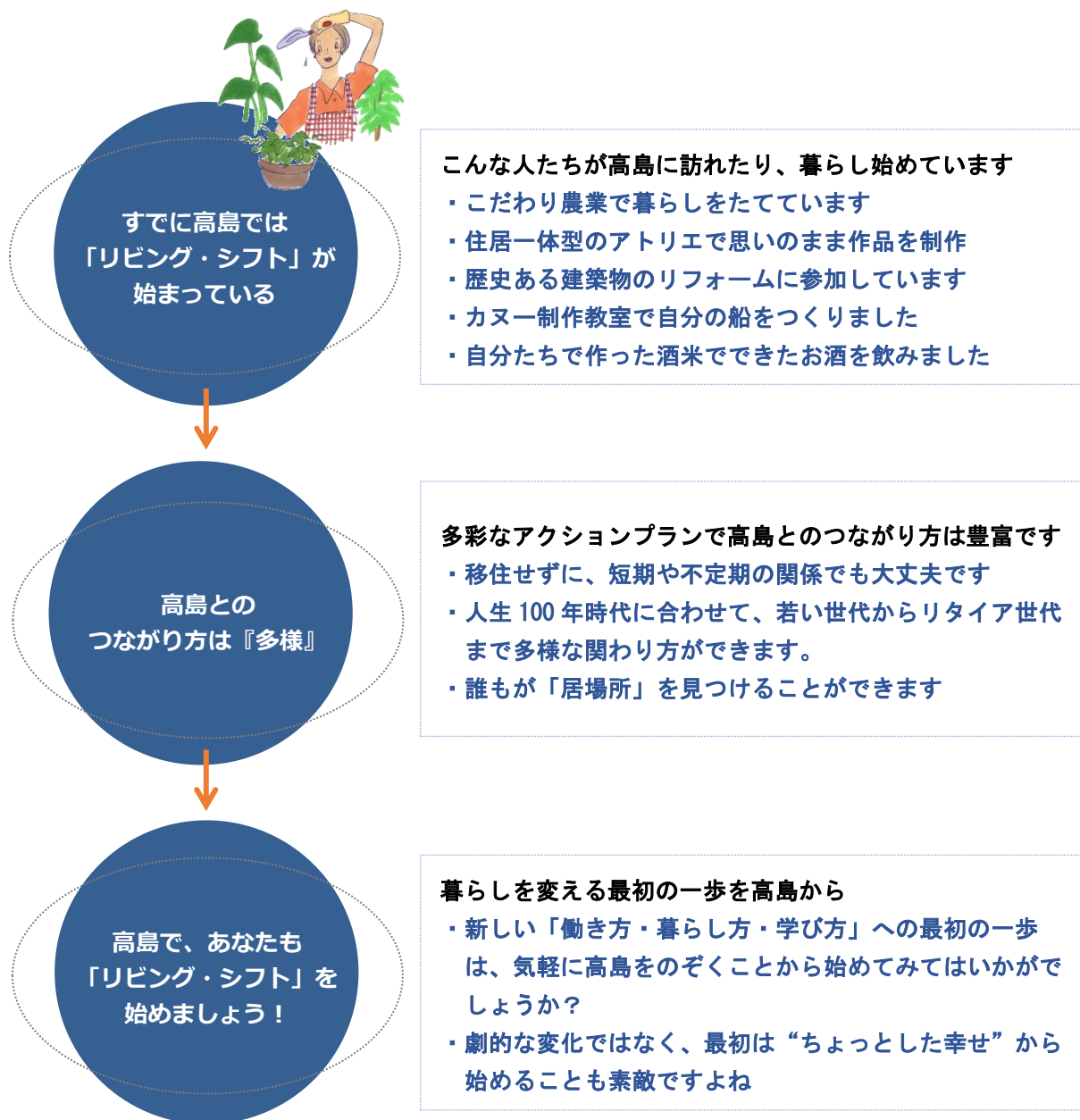
～ 物語1 高島であればできることがある ～

自分の価値観を大切にしたい「働き方」「暮らし方」「学び方」の実現には、まだまだ高い壁があるけれど、高島であれば短期間でも気軽に始めることができます。



～ 物語 2 高島では「リビング・シフト」が始まっている ～

高島では様々な形のリビング・シフトが始まっていて、多様な「働き方」や「暮らし方」「学び方」が溢れています。だからこそ、高島と『つながる』ことで思いを実現でき“今よりちょっと幸せ”になれます。



ヴォーリス郵便局の補修



農家民宿四季での子どもたちの体験

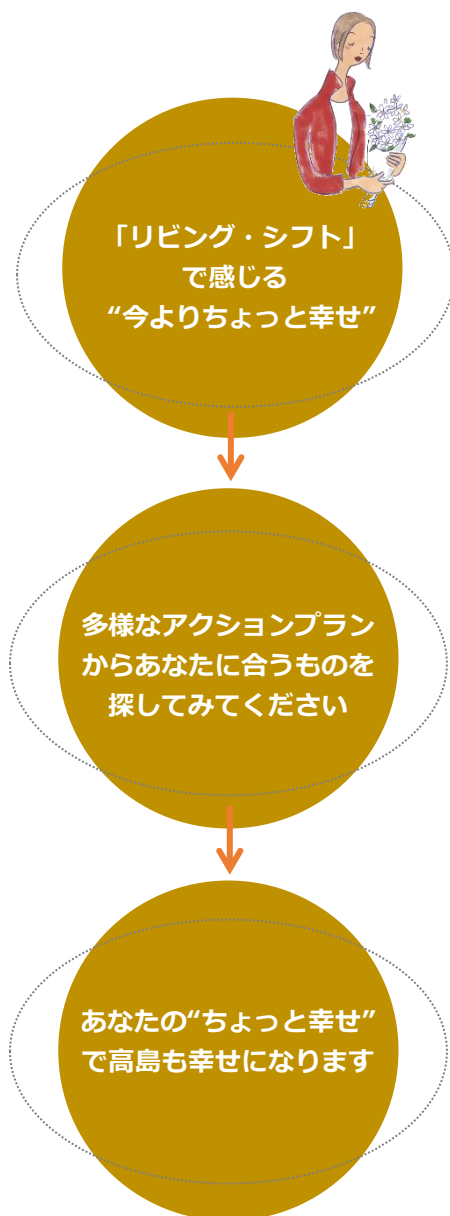


コワーキングスペース“wacca”

～ 物語3 あなたの「リビング・シフト」も必ず見つかる ～

幸せは人それぞれですが、日々の暮らしに小さな幸せがあることの大切さを、時代の大きな変化や昨今のコロナ禍を経て、人々は改めて認識しているのかも知れません。

そうした中、高島と関わることで何かが劇的に変わるわけではないけれど『リビング・シフト』を通して、高島で今日よりも、今よりも“ちょっと幸せになる”人達が増えることは、高島のまちにとってもとても幸せなことです。



“今よりちょっと幸せ”は、例えば、こんなこと

◇『つながる』幸せ ～ 仲間や居場所ができる、増える ～

- ・気の合う仲間やはじめての人と「知り合う」
- ・素敵な場所に「身をおく」

◇『くわわる』幸せ ～ あこがれの機会や時を、つかめる ～

- ・新たな学びの場に「参加する」
- ・異なる場で働く機会を「得る」
- ・いつもと違う時間の流れを「感じる」

◇『みつかる』幸せ ～ 探していたものがみつかる ～

- ・自分ができること、やりたいことに「出会う」
- ・子供達の可能性に「気づく」
- ・心やすらぐ“安住の棲家（すみか）”が「手に入る」

◇『よろこばれる』幸せ ～ 自分の価値に気づく ～

- ・地域の元気に「貢献できる」
- ・困っている人を助けて「感謝される」

◇『はじまる』幸せ ～ 気分新たにスタートする ～

- ・自分の明日が、家族の明日が「見える」
- ・新しい暮らしの場に「身をおく」

今よりちょっと幸せになるための“羅針盤”

☆『12のアクションプラン』でお手伝いします

☞ もう一度、アクションプラン編（P7-P15）へどうぞ！

人が“ちょっと幸せ”を感じる場面は様々です。
高島ならではの羅針盤（お手伝い）として、多様なアクションが動いています。

本構想は、高島とつながる人が“今よりちょっとした幸せ”になり、
そのことで高島のまちも一緒に幸せになることを目指します。

高島リビング・シフト構想

－ 構想 / アクションプラン【全編】－

令和 4 年（2022 年）2 月

発行：高島市政策部

〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑 565 番地

TEL 0740-25-8000（代）

<http://www.city.takashima.lg.jp/>